

福岡大学附属大濠中学校入試 国語

2024年1月13日実施

国語

- 一 問一 a 負担 b 防止 c 講義 問二 A [一] 進 [一] 退 C 的
問三 ア 問四 エ 問五 イ 問六 エ
問七 「人と直 [～] の重要性
問八 (例) 話し合い以外の前後の時間で、日常会話をするもの。
問九 (例) 効率や便利さのためにオンラインで仕事をする場面と、人間関係の構築のために人と直接会って仕事をする
場面を、うまく使い分ける勤務のあり方。
問十 (1) イ (2) ウ
- 二 問一 イ 問二 ウ
問三 (例) 「私」が、アラビア書道のことをきかなかったことに未練を感じ、ドアの外側にいる怜来を追いかけようか
迷っているということ。
問四 ウ 問五 ア 問六 エ
問七 [ずっと気になっていたアラビア書道を習えるかもしれないという期待と] (例) 学校をやめて以来、みんなから
置いてけぼりにされた気がしていたが、久しぶりに人と連絡先を交換することに対する喜びを感じている。
問八 X 価値観 Y 別の世界がある 問九 エ・カ
- 三 問一 ① 賃貸 ② 往来 ③ 劇的 ④ そむ [く] ⑤ どうがん
問二 ① イ ② ア ③ エ ④ ア ⑤ エ
問三 ① 襷 (たすき) ② 小判 (こばん) ③ 釘 (くぎ) ④ 爪 (つめ) ⑤ 栗 (あわ)
問四 ① ア ② ア ③ ウ ④ エ ⑤ イ

【講評】

難易度は昨年度と同程度である。大問一が論説文、大問二が物語文、大問三が漢字語句という大問構成も変わっていない。

全体の文章量が昨年度より減ったため、60分という試験時間内でしっかりと解き終わることのできるものであった。

大問一の問十は本文に関連する二つの資料を見て考える問題で、二年前まで大濠中入試で出題されていた大問三をほうふつとさせる。

また、大問三の問四は言葉の意味を記号で選ぶ問題で、かなりの語彙力を必要とする難問であった。

全体として、漢字語句・記号選択・書き抜き・記述とバランスよく出題されており、高度な国語力が要求される良問であった。

